

好評連載

## 美人女医

## 秘密のカルテ

VOL.15

片桐先生の秘密カルテ

■年齢/出身地

38歳/東京都

■身長/スリーサイズ

158cm/Bは妊娠して大きくなりました。

■趣味

ワイン。ソムリエの資格を取りたいんですよ。

■出没エリア

六本木、青山、表参道。ときどき銀座。

■男性に求める三大条件

①何かひとつ秀でた物がある。②約束は守る。

③思いやりがある。

■ストレス解消法は？

無性に温泉に行きたくなる時は、伊豆修善寺へ。

■うれしい誉め言葉は？

誉められれば、なんでもうれしい(笑)。

■美を求める人へメッセージは？

人生は意識の持ちかた次第で変わりますよ。

【衣理クリニック表参道】

東京都港区北青山3-5-30 入来ビル4F

03-5786-0077

http://www.eri-clinic.com/

衣理クリニック表参道(美容内科)片桐衣理先生



「外からだけでもダメだし、中からだけでもダメ。つい、どちらか片方だけになっちゃってませんか？」

「5か月です」。そう、当連載始まって初のご懐妊女医さん。写真撮影中のフラッシュは影響なかったでしょうか？

——ご懐妊おめでとうございます。

ありがとうございます。超音波の写真見ます？(子宮内写真を出す)これ自分で撮ったんですけど。

——え、お医者さんって自分で撮るもんなんですか？ 知らなかった。機械があるのですね、チョチョッと撮って見たの(笑)。まだ性別がよくわからないんですよ。

——というわけで、医者になられたきっかけを教えてください。

高1の時に憧れの女医さんがいましたね。当時の女医さんの多くは黒縁めがね、ひつめ髪、色気無しかったのに、その方はお化粧されてパーマでヒール。緊張させないように白衣も着ずに私服で診療なさって。聴診器を手のひらで温める思いやりがあって。薬だけじゃなく、安心感の中で人の内面と外面を癒す人だったんです。心底憧れました。

——それはかつこいい女性ですね。

そう。それと、私は昔から美容が好きで。毛穴が開きやすくて皮膚がくすむというコンプレックスがあったの。陶器のような肌が諦めきれなくて、海外の化粧品フリックだったんです。ずいぶん買ったわ(笑)。でもなかなか思うよ

うにならない。だったら自分でもこしん研究しようと思者の道に。アンチエイジングという言葉がなかった頃から、そのことを考えていましたね。

そうした経験から「美容といっても、皮膚科でもないし、形成外科でもないし、どうだ内科だ？」とあって、美容内科という発想を作り、今日に至るんです。外側だけじゃ美しくならないの。外からだけでもダメだし、中からだけでもダメ。ついどっちかだけになってるのが現状だと思えますね。

## 今週の一言健康講座

最近男性も、外見的にも一目置かれる男、を目指さなきゃならないでしょ？ そこで、今日は美容の基本であるダイエットのコツについて一言、まず「権性」とか「やつける」などのマイナスイメージを捨てるのが大事です。期間限定で無理を強いてもリバウンドするのは当たり前の話で、体を大切にすることを必要なんです。

そこで、効率の良い何か、ストレスをかける何か、代替のものを思いつく力がポイントになります。この力がある人はダイエットできる。ガマンし続けるのではなく、逃げる隙も作っておいて尻尻合わせするのが秘訣です。ゆっくりスタイル自体を変えていくこと。ダイエットとはスタイルの進化なんです。衣理より。